

イントレランス (1916)

INTOLERANCE

INTOLERANCE: LOVE'S STRUGGLE THROUGH THE AGES

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 180分

初公開日 1919/03

公開情報 劇場公開

【解説】

“映画の父” D・W・グリフィスの代表作という枠にとどまらず、サイレント映画、いや全映画の中でも避けて通るわけにはいかない歴史的傑作。古代バビロンの崩壊を描く<バビロン篇>、キリストの悲運を描く<ユダヤ篇>、聖バーソロミューの虐殺を描く<中世篇>、ストライキで職を失った青年と乙女の純愛を描く<現代篇>の4つの物語が完全に平行で進んでいく。ここで使われている映画演出技法は今となってはしごく当たり前の事ではないが、それはグリフィスが完成させたものであり、この作品が証明したものなのだ。しかし、そういう教科書的な意味合いだけをこの作品から汲み取るのは正しくない。一見何の関連も無さそうな4つの物語が、愛と寛容をキーワードに（タイトルのイントレランスとは不寛容の事）やがてひとつの大きなうねりとなる、その圧倒的ともいえる映画の興奮を味わう事こそ、グリフィスが狙ったものであり、観る者の醍醐味なのだ。89年にフル・オーケストラの伴奏付きで大々的にリバイバル上映され、そのバージョンにはSFXの名手リチャード・エドランドによるイメージ・オープニングが付加された。

【クレジット】

監督	D・W・グリフィス	D.W. Griffith
脚本	D・W・グリフィス	D.W. Griffith
撮影	G・W・ピッツァー カール・ブラウン	G.W. Bitzer Karl Brown
音楽	ジョセフ・カール・ブレイル D・W・グリフィス	Joseph Carl Breil (ノンクレジット) D.W. Griffith (ノンクレジット)
助監督	トッド・ブラウニング	Tod Browning
出演	リリアン・ギッシュ ベッシー・ラヴ メエ・マーシュ コリーン・ムーア コンスタンス・タルマッジ モンテ・ブルー	Lillian Gish Bessie Love Mae Marsh Colleen Moore Constance Talmadge Monte Blue